

立命館大学環太平洋文明研究センター第6回研究会

2014年10月31日(金)18:15-19:30

立命館大学衣笠キャンパス学而館 2F 研究会室 1

北米環境と流域管理

森下直紀（和光大学：人類学）

今日、アメリカ合衆国において国立公園や国有林として管理される土地のうち、多くは水源をそのなかに抱えています。国立公園や国有林の位置と流域分布を示し、国立公園や国有林として成立する土地がどのような政策的理由によって成立してきたのかについての仮説を提示します。



1912年、フリーマン報告に掲載された、ヨセミテ国立公園水源開発後の景観をイメージした合成写真

立命館大学環太平洋文明研究センターは昨年4月に新設された新しい研究組織です。「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」のが目的です。人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。

定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加ください。

お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局 075-466-3335

立命館大学環太平洋研究センターHP：<http://www.ritsumei.ac.jp/research/rcppc/>